

Nilakaṇṭha's records of planetary conjunctions

矢野道雄*

16世紀のニーラカント (Nilakaṇṭha) の『アールヤバティーヤ注解』にパラメーシュヴァラ (Parameśvara, 1360-1455 頃) の日月食の観測記事があることはすでに知られているが、われわれは惑星の会合に関して、パラメーシュヴァラによる7つの観測と、ニーラカント自身による4つ観測が記録されていることを発見した。ニーラカントの4つの観測は次の通りである。なお「積日」はカリ・ユガの始め (紀元前 3102 年 2 月 18 日からの蓄積日数である)。SN は市販ソフト StellaNavigator 10 の結果である。

(1) 積日 1677546 (1492/1/2): 「土星と火星の会合」

SN at 4:00 am.

$$\lambda_{Sat} = 308^{\circ}30'45'', \quad \beta_{Sat} = -00^{\circ}49'37''$$

$$\lambda_{Mar} = 308^{\circ}47'53'', \quad \beta_{Mar} = -01^{\circ}07'01''$$

(2) 積日 1680002 (1498/9/23): 「木星が月に覆われた」

SN at 20:00 am. (1498/9/22)

$$\lambda_{Mo} = 278^{\circ}20'20'', \quad \beta_{Mo} = -00^{\circ}21'19''$$

$$\lambda_{Jup} = 278^{\circ}40'10'', \quad \beta_{Jup} = -00^{\circ}20'26''$$

(3) 積日 1667324 (1464/1/7): 「木星と金星の会合」

SN at 4:00 am.

$$\lambda_{Jup} = 313^{\circ}35'02'', \quad \beta_{Jup} = -00^{\circ}45'17''$$

$$\lambda_{Ven} = 312^{\circ}57'10'', \quad \beta_{Ven} = 05^{\circ}03'34''$$

(4) 積日 1678851 (1495/7/30), 「土星と金星の会合」

SN at 4:00 am.

$$\lambda_{Sat} = 356^{\circ}24'25'', \quad \beta_{Sat} = -02^{\circ}26'25''$$

$$\lambda_{Ven} = 167^{\circ}49'59'', \quad \beta_{Ven} = 01^{\circ}03'26''$$

この場合はテキストの 1678851 の代わりに 1673851 と読むと、1481/11/20 になり、この日の 4:00 am. は SN によると:

$$\lambda_{Sat} = 201^{\circ}56'29'', \quad \beta_{Sat} = 02^{\circ}20'49''$$

$\lambda_{Ven} = 201^{\circ}58'26'', \quad \beta_{Ven} = 02^{\circ}15'44''$ となり完全に一致する。これらは南インドで優れた観測が行われていたことを例証するものである。

*京都産業大学名誉教授。この発表は京都で行っている「インド科学研究会」に負うところが大きい。